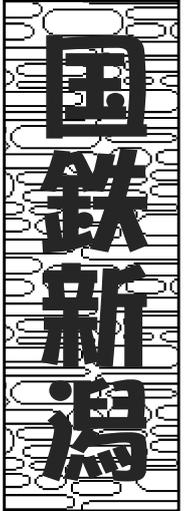




### 大幅賃上げを求めていく 渡辺副委員長 開会あいさつ

はじめに、渡辺副委員長から開会あいさつがありました。  
「国労の要求4・8%1万3千円のべア、大幅賃上げを求めていく。春闘は職場、地域の闘いを結合し

第40回国労東日本本部拡大委員会が2月11日10時30分より東京・交通ビル会議室で開催しました。



No.1092  
発行  
2023年  
7月27日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
清野 聡  
編集責任者  
教 宣 部

# 春闘と組織拡大を結合して

組織拡大も取り組んでいく。JR東日本は組織再編による合理化で業務の拡大を進めている。運転士の駅業務などについて、労基署は、その業務についてふさわしくないと回答している。

### 職場の闘いが重要だ

職場からの闘いが重要だ。社員の不満、不安が多くある。働き続けられる環境に改善していく。地方ローカル線の問題について、廃

止反対の取り組みが進められ地元で協議会が発足している。  
委員からの積極的な討論で方針書の補強をお願いしたい。とあい



## 第40回国労東日本本部 拡大委員会2月11日開く

## 第129回新潟地方本部 拡大委員会の開催

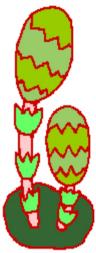
- 日程 3月11日 13時～
- 会場 地本 会議室

○拡大委員会は、通常通り開催します。感染対策を万全にして開催します。委員、構成委員の方々の御協力をお願いします。

○来賓では、国労東日本本部・渡辺副委員長が出席します。



国労弁護士団・宮里弁護士が亡くなり、御冥福を祈り全体で黙祷を行いました。  
宮里先生がいつも話されていた「団結なくして解決なし」ととても大事な言葉です。  
その後、執行部から当面する闘争方針について提案がありました。



さつしました。  
委員会資格審査結果の発表では、委員15名中15名、全員の出席を確認、委員会が成立したことが宣言されました。  
議長は東京地本・本間誠委員が選出されました。  
その後、伊藤委員長のあいさつ来賓では、国労弁護士団の海渡弁護士・福田弁護士、そして国労本部から松川委員長がそれぞれあいさつしました。

## みんなの意見 労働組合の 必要性を訴える

●地本組織が減少にともない組織検討委員会を立上げ二分會体制にしていく。職場で労働組合の必要性を訴えていきたい。  
組織拡大については組織検討委員会会で1年間の取り組みを決定した。職場代表委員の選出、労安委員の選出など取り組みを強化していく。グループ会社の組織化を図り交流も深める。

代表者選挙の取り組みから組織拡大へつなげる。国労の取り組みを広めていくことを地本全体で意思統一した。  
地方交通線について、常磐線がやっとながった。駅の無人化や中編成でのワンマン化が実施されている。駅業務について、プロジェクトチームを発足し取り組んでいる。

2023春闘は地本学習会を開催し春闘の位置づけとする。

### 休憩が取れない



●駅業務について、休憩と仕事の労働時間がいまになっていない。外出ができません。職場で24時間詰めていなければならない。きちんと休憩が取れるよう訴える。組織拡大については、レクリエーションを企画・検討している。

2023春闘、昨年11月に分会長会議を開催した。賃上げ、職場の労働条件改善を求め取り組む。グループ会社へも要求していく。  
代表委員選挙の公正・公平を求め申し入れ、訴える。未加入者への組織拡大を取り組み、エルダーの賃金改善も求める。



### 退職者が増えている

●2023春闘・組織拡大、会社の組織再編から退職者が増えている。職場の業務多くなって、不満、不安が多くなっている。  
22歳の社員が退職した、女性社員がメンタルなどで休んでいる。厳しい労働環境になっていることが原因ではないか。  
春闘の取り組みで、定昇半減の解消を求める、未加入者への国労加入を訴える。エルダーは基本給が18万円、その4・8%では少ないベアではないか。  
地方ローカル線、昨年の8月に豪雨災害が発生した。線路の災害復旧には4カ月、6億円費用がかかる。岩手県で守る会が発足した。  
貨物輸送は、北海道の幹線や青い

森鉄道など重要だ。2024年問題で鉄道輸送が必要になってくる。



### 労働者の権利を守る

●グループ会社・組合員からの特別発言し労働者の権利を守る。労働環境・労働条件が改善されない、他労組との連携ができない。  
会社へインパクトを与えるような取り組みを進める。労働者への学習会を開く。

### 駅業務の廃止

●労働条件の改善と組織拡大、営業統括センターの運転士について業務内容が変更され若手が退職している。その原因など情報をつかむ。  
労働組合の必要性を訴える。グループ会社の労働条件改善を求めていく。会社の組織再編への不満や不安が多くなる。これを改善していくため組織化をしていく。  
駅業務の廃止が拡大し窓口の閉鎖が進んでいる。駅員が居ても窓口が閉まったままなので無人駅と同じだ。地方ローカル線、赤字が公開されてそれが廃止につながってバス代行へ。生活の足、公共交通機関を残すこと。利用しやすいダイヤ改正を求めていく。  
2023春闘賃上げについて中小は厳しいのではないか。ベアに期待している。貨物もベアを求め満額回答へ。2月27日の春闘行動について

## のびのび社会活動・市民運動をすすめるために100問100答

○憲法を守る警察にするためにはどうすれば良いのでしょうか？

●警察が、憲法と法律にもとづき、私たちの生命や財産を守るために活動をすすめるためには以下のようなことが必要だと考えます。

- ①警察が権限を濫用しないように、市民が監視し、濫用があれば抗議し、広く事実を市民に知らせて止めさせること。
- ②裁判などを通して、警察の権限乱用などの不当性を明らかにし、その闘いを力に改善させること。
- ③公安警察を廃止するなど警察制度の民主的改革をおこなうこと。

### ●日本国民救援会から記載しました●



○立春が過ぎて季節は春へ、新潟市内では2月に入ってから寒波で大雪になりました。今はすっかり消えまじつた。  
これから、どこか出掛けたいですね。雪だけが進みまじつたら魚沼へ行ってみてくださいね。



て内容を検討して欲しい。集会を建てる中で開催するのではなく外での集会や決起集会の開催、貨物本社前で抗議集会が開催できないか。  
平和の問題を2023春闘と結合して取り組む。  
国労の組織再編から規約改正となるが見直しを。運動論としてどうなのか。  
○全体の討論は次号に続きます。



●4月8日に分代・組織強化拡大対策会議を開催します。少しづつコロナが収束しています。  
政府は、3月の卒業式はマスク無しでも可能、マスク着用は個人の判断と説明がありました。  
5月8日連休明けにコロナを2類から5類に変更することが決定しました。インフルエンザと同様になります。

## 編集後記

○国労本部、東日本本部の拡大委員会が開催し春闘の具体的な方針が決定しました。  
新潟地本は、今年の春闘もコロナ対策で具体的な取り組みはありませんが、3月11日に拡大地方委員会を開催し全組合員の意思統一を図ります。